令和８年度　学校関係者評価委員会　議事録

【日　時】令和８年７月 10 日（金）10：00～11：20
【場　所】こころ医療福祉専門学校壱岐校　１階相談室
【委　員】壱岐市社会福祉協議会　会　長　安川　哲子　様
壱岐市立老人ホーム　所　長　吉田　博之　様
特別養護老人ホームハッピーヒルズ施設長　土屋　耕一　様
【事務局】こころ医療福祉専門学校壱岐校　校　長　後藤　久志
こころ医療福祉専門学校壱岐校　学科長　野田比呂恵
こころ医療福祉専門学校壱岐校学生部　崎田弥生
堤　広志

【総　評】

（校　長）昨年度の総評として次のように校長の自己評価をしています。

①　国家試験において、日本人５名全員と留学生６名の 11 名が合格しました。早期から目的意識をもって自発的に取り組んだ結果が実を結んでいます。留学生も熱意をもって計画的に学習に取り組めたし、後半の追い込みには素晴らしいものがありました。本人たちが日々たゆまざる努力を重ねたことと、先生方の日々の指導の積み重ねの成果であると自負しています。

②　就職支援に関しては、日本人学生５名、壱岐市内で就職予定の２名の留学生に対し、壱岐市内の施設による説明会を開催しました。12 名全学生全員が就職することができました。今年度は壱岐市内で就職予定の留学生が数名おりますので、後期に就職先との面談会を計画するようにしています。市外に就職する学生に対してもオンラインで就職先との面談を実施する予定にしています。

③　昨年度は、国家試験に 11 名が合格を果たし、留学生は 87 パーセントの合格率で今後の留学生たちの大きな目標となりました。日本語力の向上が合格率、学習意欲も向上に繋がったと思います。在校時においては、アルバイトによる自立生活を行い、日本の文化、習慣、納税等についての指導も根気良く行い、卒業後の社会生活を円滑に営めるよう支援しています。

④　職員会議や朝会を中心に教職員間の情報を共有し、意思統一した上で運営に取り組んでいます。個人情報の保護に努め、細心の注意を行った上で学生からの相談内容を取り扱っています。そのために

も「報・連・相」の体制を更に推進していきます。先生方の指導に対する評価はかなり高いと思います。

⑤　中学校や高校の進路説明会やガイダンスに職員を派遣し、正確な情報の伝達と広報活動に力を入れています。また、オープンキャンパスにおいては、補助金の説明や模擬授業を行っています。その他情報発信として、SNS や地元メディアを活用した広報活動も行い、その成果も現れています。年々高校生が減少していますが、一人でも多くの日本人学生が入学してくれるように広報活動を行いたいと思います。

⑥　近年、壱岐市内で就職をする学生については運転免許を在学中に取りたいという希望者が増えています。施設として運転免許の取得についてはいかがでしょうか？

（委　員）　留学生がそれだけ国家試験に合格していることに敬意を表します。今後も今年ぐらい合格されることを期待します。

在学中の運転免許取得については、就職後即戦力になりうることから在学中に運転免許取得を目指して頂けるのはありがたいと思います。

（１）教育理念・目標

（校　長）　全学生が、卒業後即戦力として働けるように指導しています。振り返りと改善を行いながら、日々育成に必要な教育活動を展開していきます。一旦島外へ出て、そして戻って来る。島外へ出て行っても、学業とアルバイトを両立するつもりが、アルバイト中心の生活になってしまっては意味がありません。オープンキャンパスや学校進路説明会など、保護者と話す機会がありますのでその中でこのようなことがないように学生・保護者・高校等、幅広い層に働きかけを行いたいと思います。

今まで、日本人学生全員の国家試験合格が最大の目標でしたが、欲を言えば、今年度同様留学生にも国家試験に合格してくれることを願っています。学生のレベルや出身国が毎年異なりますので厳しいときもありますが、入学したからには一人でも多く合格させたいと思っています。

今年度は学校教育目標に、新たに「一人一人の学生を大切にする教育活動の実践」を加えています。

私たちは壱岐市内の介護職の確保も大きな目標の一つに掲げて

います。壱岐市内における今後の介護職の雇用の状況や職員としての留学生の需要について話をお聞かせください。

（委　員）　島内に留学生の受け入れのニーズはあると思いますが、どうしても給料が高い所に行くという傾向はありませんか？特に大都市では仲間が多く給料も高いし、帰国に便利な事からそちらに移る留学生が多い現状があるのではないでしょうか?
壱岐市には就職後に補助があるが、留学生にとっては、そのことより都会の給料の方が魅力を感じるのではないかと思います。

（学生部）　留学生たちは壱岐校で勉強をするために日本人学生と同様に、長崎県社会福祉協議会の奨学金 168 万円を利用して学習することが多いです。この奨学金は、介護人材確保のために運用されており、県内の離島に勤務すれば 3 年間それ以外の県内での就職は 5 年間で返済が免除されます。ほとんどの学生が利用していますが、利用しない学生もいます。
　また、留学生のほとんどは本校入学前の日本語科の学生時に連携施設から学費の援助をしてもらっている者が多く、本校卒業後はその施設に就職する者がほとんどという現状です。

（委　員）　壱岐市内は介護人材の不足が考えられるものの、今後人口も減少傾向にあるために、介護人材の雇用が極端に増えるということは考えにくいと思います。留学生の皆さんには国家資格取得が一番の目標ではあるが、島内に残ってもらうためにはそれなりに自治体との連携もより必要になってくるかと思います。日本語科在籍中の学費の援助についても考える必要があると思います。

（２）学校運営
（校　長）　「地域のすべての産業と高齢化社会を包括的に支援できる組織になる」という岩永学園グループのビジョンを念頭に置き、グループ内の教育事業としての責任を果たせるように運営方針を策定しています。教育活動や募集活動等に関する情報をホームページに公開していますが、更に若い世代の人々向けに SNS やメディアによる幅広い情報発信を行うことで、卒業後のイメージを分かってもらえるようになってきました。事業所のご協力に対しても感謝しています。

（３）教育活動

（教育部）　規則に基づいて体系的に編成されたカリキュラムを実施しています。市内の介護事業所の協力を得て実習が実施できていることに感謝を申し上げます。そうした施設の協力もあって、実践的で効果的な実習を行うことができています。人数が多くなりましたが、今年度の実習も計画通りに実施できていることに感謝しています。

（校　長）　地域の運動会への参加など、学校行事として協力できると思っています。鯨伏地区の運動会ではたくさんのお褒めのことばをいただきました。また、今年度は新しい試みとして、7 月 7 日に開催された社会を明るくする中学生弁論大会の審査の幕間に、1 年生留学生 3 名の発表の場をいただきました。会場にお越しの中学生や一般の方々、主催者からもお褒めの言葉をいただきました。壱岐校を多くの方々に知ってもらう良い機会になったと思います。その様子は壱岐テレで放映される予定です。

（学科長）　国家試験に向けて、いつ始めるか学生の意識の問題があるが、今年も留学生は日本語能力が高いので、私たちの指導力のスキルアップも含め、目標達成のための支援を行っています。昨年度の成績が良かったので、それを目標にして頑張らせたいと思います。

（委　員）　留学生の合格率の高さに敬意を表します。学生達の努力は勿論、先生方の熱心な指導の結果だと思います。最終的な目標は全員に国家資格取得させることと就職させることだと思いますが、卒業後就職した際に、学校が指導に力を入れてある倫理観や介護観活かして、実習で学んだことを現場で十分活かし活躍されることを期待いたします。日本語能力の高さは、実習を行う際もとても高評価です。施設内での決まり等についても現場でも指導していますが、学校の方でも再度指導してもらえれば、さらに効果的であると思います。

（学科長）　実習中の評価については、具体的な内容を聞くことで今後の指導にもつながります。ありがとうございました。１年生は今年度中に第２段階の長い実習もありますので、見えてきた反省や課題を次につなげることができるように振り返りを行わせます。施設内の決まり等についてはそれぞれの施設で違いがあったりもしますので、その時その場でのタイムリーな指導をしてもら

って構わないと思います。その後学校でも再度指導するようにしたいと思います。

（４）学修成果

（校　長）　昨年度の国家試験は、日本人学生５名全員と留学生６名の合計11名が合格しました。卒業生も、継続して挑戦し合格した者がおります。留学生の中には田舎で不便と言う者もおりますが、2 年間の自己目標を明確にし、必ず卒業する覚悟をもって来てもらいたいと思っています。入学前に丁寧に説明も行っております。留学生には色々なネットワークがあり、様々な情報が入ってくるために、入学当初とは違う考えを持つ者も出てきます。施設から多くの支援を得て勉強しているので、卒業後は連携施設への礼儀やマナーを守るよう徹底して指導しています。過去には、金銭的な面だけに興味を示し、全く受け付けなかった学生もいました。卒業後、就職してからすぐ辞めて別の施設へ移るなど、施設に迷惑をかけている者もいて心苦しい思いでしたが、ここ数年は改善されてきていると思います。

（５）学生支援

（校　長）　昨年は市内の各施設と連携し、全施設の説明を聞くという形で合同就職面談会を実施することができました。ここ数年日本人学生が少なくコロナの影響もありましたので、個別訪問の形をとっておりました。今年度は日本人学生が 7 名になりましたし、卒業後に壱岐市内で就職する留学生もいますので、有意義な合同面談会にしたいと考えています。

本校では、留学生のほとんどが放課後はアルバイトを行っていますので、十分な課外活動を行うことはできません。留学生に対しては、各種手続きへの職員同行、買物やアルバイトの送迎、通院の付添等丁寧に対応しています。

現在、多くの学生を受け入れており、アルバイト先の確保、送迎の対応等に苦慮しておりますが、今までの学生の頑張りや各方面の協力もあり、どうにかやりくりをしています。今後は、多様性の問題など新たな課題は出てくると思います。

（委　員）　集団生活なので感染症のリスクは高くなるが、引き続き感染症対策に取り組み卒業まで頑張って頂きたい。学生達のこれまでの

頑張りが実を結んでいると思います。そのことを十分に踏まえて今後も継続して努力してほしいと思います。

（６）教育環境

（学生部）　施設備品については、リモート授業対応の教室やプロジェクターなどの備品も確保できており、柔軟に運用できております。ここ数年は対面での授業となり、理解力も向上してきたと思います。施設実習についても、市内介護施設で受け入れをしていただき、各学年ともほぼ計画的に実施することができました。協力いただいた施設には感謝しています。

留学生が大半を占めていますので、消防署や警察署の協力のもと、防災・防犯教育を行っています。

（７）学生の受け入れ募集

（校　長）　中学校の進路説明会や高校ガイダンスにも積極的に参加し、オープンキャンパスも開催しています。SNS や地元メディアなども活用し、学校の目的や取得できる資格、学費支援についても丁寧に説明しています。そうした広報活動の成果が表れ始め、入学者数も増えてきました。卒業後の市内での就職先も多くなり、活躍が認められ、高校生や一般、保護者の関心も高まっています。今後も島内で学ぶことの経済的、メンタル的なメリットについて根気強く伝えて行きたいと思います。しかしながら、少子化の問題は避けて通れない課題となっており、今後は留学生の人数が増えてくると思います。

（８）財務

（校　長）　少子高齢化が顕著であることを考えれば、壱岐市内における介護人材の確保、若者の大切な進路先、その後の就職に繋がるということをアピールし、学生の確保に努め、安定した授業料収入に繋げたいと考えます。家庭や学生の経済的不安を解消する手段としての減免制度や修学資金の活用など、丁寧な説明や情報提供に努めたいと思います。多くの留学生が壱岐市で 2 年間生活することも壱岐市には少なからず貢献できていると思っています。

（９）法令等の遵守

（校　長）　自己評価の実施については全職員・学生を対象に行い、学校関

係者評価委員会で、評価・改善を行っています。よりよい学校運営を構築するためには、提起される問題・課題に対し各職員が改革意識をもって業務に臨む必要があります。

（１０）社会貢献・地域貢献

（学生部）　ここ数年はコロナ禍で十分な社会・地域貢献ができていませんでしたが、コロナが 5 類となり普段の日常に戻ったことで、いろいろな活動が以前に比べて実施しやすくなりました。今後は、コロナウイルスや他の感染症の予防対策を徹底し、できるだけ日常生活が送れる方法を模索しなければなりません。学生たちも土日はアルバイトをしながらの生活を送っていますので、平日に行えるボランティア活動など、何か情報がありましたら、情報の提供をお願いします。

（委　員）　地域行事参加や地域貢献など幅広く島民に知って頂けるように、壱岐ケーブルテレビに取材申し込みを行い、多くの行事や活動、授業等の様子をケーブルテレビで放送して頂いたらもっと広く活動が周知されるのではないでしょうか。今後、検討課題とされてください。

（１１）国際交流

（学科長）　留学生の学習意欲の向上、日本語能力の向上は即国家試験の結果に現れます。職員においては、丁寧な指導をさせることによって授業に対する困難さの軽減を図りたいと思います。国によって日本語能力の差が見られますが、現在大半を占めているミャンマーの学生はかなり日本語能力も高く、授業の理解度も高いようです。非常勤の先生方からも、授業が行いやすいというご意見が多く聞かれます。

（学科長）　留学生の受け入れについては今後も積極的に行っていますが、日本語能力に個人差があり、日本人学生と同じ授業を受けさせる困難を何とか克服すべく、全学生の学習意欲の維持と向上に努めます。ここ数年のミャンマーの留学生の日本語能力の高さは、学習意欲、学力の向上、施設実習を効果的に進める上でも大変大きかったと思います。その点は、留学生の国家試験合格で大きなウエイトを占めています。今後も、留学生には学校や普段の生活に

おける日本語力の向上、日本文化を理解することの大切さを伝えていきたいと思います。

(校　長)　本日は、委員の皆様方からの忌憚のないご意見をただき感謝しております。今後の課題については、改善のための具体的な方策を立てて、今後のより良い学校運営に活かします。また島内唯一の介護福祉士養成の専門学校として、引き続き介護人材の確保に努めたいと思います。今年度の成果に満足し奢ることなくさらに上の段階を目指して数的目標を掲げ、実績を残せるように努力したいと思います。
委員の皆様方には、これからもご指導・ご意見を賜りますようお願い申し上げます。

本日はありがとうございました。